

蘇我支部 廃止は許さない

蘇我支部 定期大会



大塚支部長を先頭に団結うちかため総決起するぞ！

今後あらゆる闘いで蘇我支部の存続を勝ち取ろう

大会は議長に宇佐美氏を選出し、本部から布施書記長、片岡執行委員が参加して開催されました。

冒頭あいさつに立った大塚支部長から、闘いの総括と、「今後どのような形でも蘇我支部存続のため断固闘いぬこう」という決意がのべられました。続いて本部を代表して、布施書記長があいさつに立ち、「今大会は蘇我支部始まって以来の重要な闘いである。当局は、一月一五日蘇我支区を廃止して派出所とする提案をしてきた。動労千葉はこれを絶対に認めることはできない。これを認めることは、単に蘇我支区の問題ではなく、次期『ダイ改』またその次とさらに強硬な合理化攻撃をかけてくることは必至だからだ。当局とは全面対決する。さらには、存続を京葉線開業に結びつけた闘いにしたい。さらに『60・3ダイ改』阻止闘争は、動労千葉の組織の存亡をかけた闘いである。『10・10五割動員達成』、『11・10集会』に結集した力を今次闘いに結集し闘っていかねばならない。本部は先頭に立ち徹底抗戦のかまえて闘う」という力強い決意と闘いの方向性をあきらかにしました。

真剣、活発な質疑討論

これをうけて、孤田副支部長、山村執行委員より一般経過報告、大塚支部長より八四年度運動方針（案）、茅野書記長より八四年度予算（案）が、各々報告ならびに提起されました。続いて国鉄当局による提案に怒りをこめて熱気あふれる一括質疑に入り、要旨次のような質問が出ました。

① Bダイヤの提案に對置するものとして、組合案としてのBダイヤ作成の取り組み方。

② 先行している線見（大宮―武操方面）のうわさについての問題。

日刊 動労千葉

84. 11. 30
No. 1805

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

「蘇我支部通信員・発」

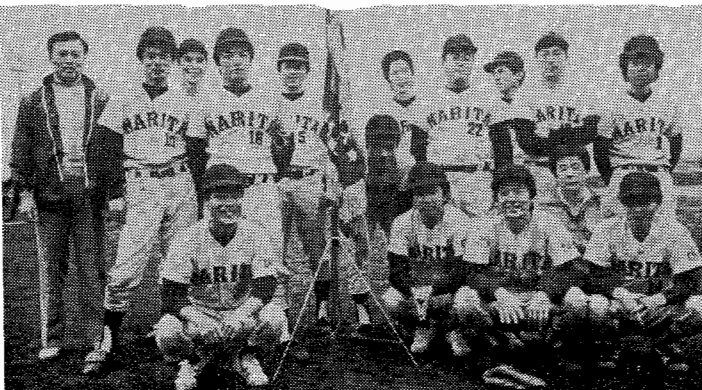
一月二二日蘇我支部は、おからの「60・3ダイ改」攻撃の中で、廃止提案されるなど緊迫した状況の下で、支部第6回定期大会を開催し、執行部を先頭に三八名の代議員が出席して、怒りも新たに全組合員が廃止提案撤回に向け闘うことを確認し、成功裡に終了しました。

③ 廃止提案撤回闘争と転換強要問題。
④ DL・ELの混運用問題と転換教育について。
⑤ 「60・3ダイ改」阻止の取り組み方について。

等の質問に本部布施書記長より、①については、支部としてのダイ作を徹底的におこなうこと。②については、今の時点であり得ない。③については、「廃止（案）の撤回闘争が先決、そのうえで一人一人充分に話し合う。④については、組合の考え方として教育を再び開始するよう要求し、組合員の利益優先で取り扱いたい。⑤については、「60・3」闘争は、本日の定期大会を突破口にあらゆる手段をもって闘いぬけるよう組織体制を固めておくこと。

以上の答弁をうけた後、運動方針、予算、大会宣言、スローガンを一括して採択し、どんなに情勢が厳しくとも、全員で団結して闘っていくことを確認し、最後に、大塚支部長の力強い音頭で団結ガンバローをおこない終了しました。

成田支部野球部 市民大会で優勝



「成田市民 秋季野球大会」が、全66チームの参加のもとで開催されました。成田支部野球部は1回戦より好調なすべり出でて勝ち進み、11月18日午前中の「準決勝戦」を2対0で完封勝ちし、午後の決勝戦へと進出しました。堅い守備陣とチャンスに強い全員一丸となった攻守で相手チームを圧倒、「決勝戦」も3対0で完封優勝を勝ち取りました。（成田支部通信員・発）

来春の千葉県大会に
成田市代表として出場します。
迄応援